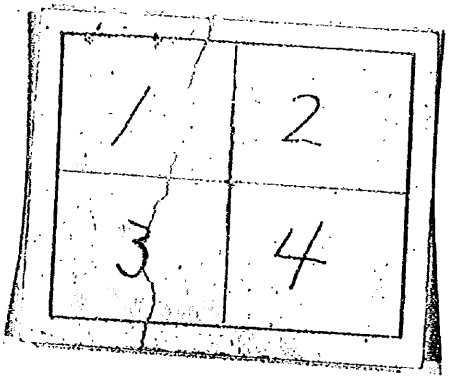
分割撮影ターゲット

分割した部分の撮影順序	
分割撮影した理由	A3判以上のため

上記のとおり分割撮影した事を証明する。

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

0349
0350
0351
0352

所屬 第五方面軍 第九一師團一部隊名獨立歩兵第二八四大隊 (1) 通稱號先 一二六八四

郵便所名

全般概要	轉入 十九年以降	轉出 十九年以降	編制人員	隊別	隊長名 (　)内は先代を示す	開戰時員	駐屯地 平時	駐屯地 戰時	戰斗間の狀況及損耗	終戰後の人員變動	作業大隊より入「ソ」迄の變動	入「ソ」人員 隊別	入「ソ」人員 計	滿洲殘留	收容所
一九、四、一五 占守島幌の潤に於て編成停戰時迄同所に在り 但し三、四中隊のみ、千島川村上大隊第一千歳丸にて警備三、四中隊のみ 戰斗				本部	長少佐 野口谷五郎 副	58	占守島潤	同上	三、四中隊のみ戰斗に參加 二〇、八、一八―八、二一迄 占守島四嶺山旭山大文字山に於て戰死二、行方不明二、死五〇 計五四名						
二〇、八、二三 三、好野飛行場に於て武解 落城大隊、勞働第七十五隊 大隊を編成落城大隊編入者				第一中隊	中尉 明田 儀一	130	同右	同上	「カ」號作戰に基き進駐、改編後は、幌ノ潤守備						
少佐 野口谷五郎 中尉 山田 謙造 同 北川 榮司 同 田中 泰示 少尉 岩崎 正美 中尉 南波 明田 儀一 同 横山 大内 少尉 桂 誠一 同 笠木 同 藤井 同 藤生 榮平				第二中隊	中尉 山田 謙三	130	同右	同上	同右						
落城大隊に落谷に於ても特別に之といつた作業なし				第三中隊	中尉 大内 正三	130	同右	同上	「カ」號作戰に基き進駐の上守備の改編を行ひ、後陣地作業に從事す、三中隊に樺太守備隊						

二一、一、一 千島出航「ウラジオ」方面に移送の樺太（ラーダー收容所主として落城四千名位）

兵大隊 イリンカ收容所 自一月廿五日至三月廿四日 軍中、ラーダー收容所 自四、二二至七、一七 軍中、エラブカ收容所 自、七、二四至一〇、一五 に「アホトカ」に上陸 イリンカ（五〇〇名） ラーダー（四〇〇〇名） エラブカ（AB合して約一千名位）

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

部隊名獨立歩兵第二八四大隊 (1)

通稱號 先一二六八四

郵便所名

編制人員 隊別	隊長名 (　)内は先代を示す	開戰時員	駐屯地 平時	駐屯地 戰時	戰斗間の状況及損耗	終戰後の人員變動	作業大隊より入「ソ」迄の變動	入「ソ」人員 隊別	入「ソ」人員 計	滿洲殘留	收容所 收容所名	收容所 所員	收容所 死亡	歸還人員 滿洲より	歸還人員 「ソ」領より	歸還人員 計	狀況不明者數
本部	長少佐 野口谷五郎 副	58	占守島	同上	三、四中隊のみ戰斗に參加 二〇、八、一八～八、二一迄 占守島四嶽山祖山大文字山に於て戰死二、行方不明二、死五〇 計五四名				664								
第一中隊	中尉 明田俊一	130	同右	同上	「カ」號作戰に基き進駐、改編後は、幾ノ瀬守備												
第二中隊	中尉 山田藤三	130	同右	同上	同右												
第三中隊	中尉 大内正三	130	同右	同上	「カ」號作戰に基き進駐の上守備の改編を行ひ、後陣地作業に從事す、三中隊に樺太守備隊												

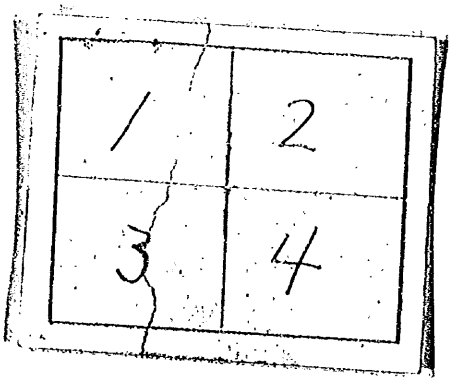
国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

| | | |

本部	第一中隊	第二中隊	第三中隊	第四中隊
中尉 明田 徹一	中尉 山田 謙三	中尉 大内 正三	中尉 岩岡 泰示
58	130	130	130	130
右同	右同	右同	右同
上同	上同	上同	上同
「カ」號作戰に基き進駐の上守備の改編を行ひ、後障地作業に從事す、三中隊に梯團警備隊	同右	「カ」號作戰に基き進駐の上守備の改編を行ひ、後障地作業に從事す、三中隊に梯團警備隊	同右

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

分割撮影ターゲット

分割した部分の撮影順序	
分割撮影した理由	A3判以上のため

上記のとおり分割撮影した事を証明する。

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

0353
0354
0355
0356

所屬 第五方面軍 第九一師團 部隊名 獨立歩兵第二八四大隊 (2) 通稱號 先 一二六八四

郵便所名

全般概要	轉入 十九年以降	轉出 十九年以降	編制人員	除隊別	隊長名 (　)内は先代を示す	開戰時員	駐屯地 平時	駐屯地 戰時	戰斗間の狀況及損耗	終戰後の人員變動	作業大隊より入「ソ」迄の變動	入「ソ」人員 隊別	入「ソ」人員 計	滿洲殘留	收容
				遠射砲中隊	中尉 山田 四郎	140	占守島	同 上	「カ」號作戰に基き守備の改編 後歩兵第中隊は幌ノ潤守備						

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

隊名 獨立歩兵第二八四大隊 (2)　通稱號 先一二六八四　郵便所名

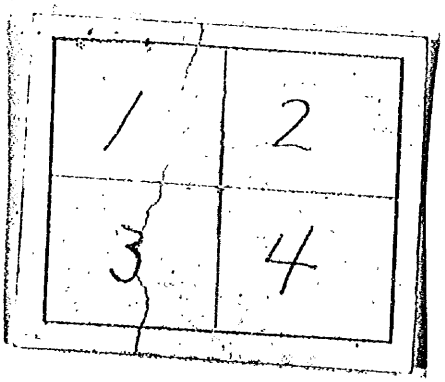
隊別	隊長名 (　)内は先代を示す	關人 戰時員	駐屯地 平時	駐屯地 戰時	戰斗間の狀況及損耗	終戰後の人員變動	作業大隊より入「ソ」迄の變動	入「ソ」人員 隊別	入「ソ」人員 計	滿洲殘留	收容所 收容所名	收容所 所人員	收容所 死亡	歸還人員 滿洲より	歸還人員 「ソ」領より	歸還人員 計	狀況不明者數
速射砲中隊	中尉 山田 四郎	140	占守島	同上	「カ」號作戰に基き守備の改編 後歩兵第中隊は薩ノ潤守備												

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

分割撮影ターゲット

分割した部分の撮影順序	
分割撮影した理由	A3判以上のため

上記のとおり分割撮影した事を証明する。

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

0357
0358
0359
0360

所屬 第五方面軍 第九一師團 部隊名 獨立歩兵第二八六大隊 (1) 通稱號 先一二六八六 郵便所名

全般概要	轉入	轉出	編成人員	隊別	隊長名 (）内は先代を示す	開戰時員	駐屯地 平時	駐屯地 戰時	戰斗間の狀況及損耗	終戰後の人員變動	作業大隊より入「ソ」迄の變動	入「ソ」人員 隊別	入「ソ」人員 計	滿洲殘留	收容所名
於硫黄島編成 二〇、五 硫黄島より占守島へ、終戰迄占守島に於り戰斗たし 二〇、八、二三 武解	十九年以降	十九年以降		本部	大佐 櫻井 諧介		占守島	同右	玉砕戰斗せず		二〇、九、一 第八大隊編成 二〇、一一、二七 占守島出發 二〇、一二、二 「ナホトカ」上陸三日滯在 二〇、一二、一〇「アルチョム」入所				
		二〇、二 將校五 下士九 北海道へ		第一中隊	中尉 城戸 利榮		同右	同上	海岸警備 海岸要點に監視哨を置き兵力配置		同右				
				第二中隊		670	同右	同上			同右		656		
				第三中隊			同右	同上							

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

隊名 獨立歩兵第二八六大隊 (1)　通稱號 先一二六八六　郵便所名

隊別	隊長名 (　)内は先代を示す	開戰時員	駐屯地 平時	駐屯地 戰時	戰斗間の狀況及損耗	終戰後の人員變動	作業大隊より入「ソ」迄の變動	入「ソ」入員 隊別	入「ソ」入員 計	滿洲殘留	收容所 收容所名	收容所 所員	收容所 死亡	歸還人員 滿洲より	歸還人員 「ソ」領より	歸還人員 計	狀況不明者數
本部	大佐 櫻井諧介		占守島	同右	直接戰斗せず		二〇、九、一 第八大隊編成 二〇、一一、二七 占守島出發 二〇、一二、二 「ナホトカ」上陸三日滯在 二〇、一二、一〇 「アルチヨム」入所										
第一中隊	中尉 城戸利榮		同右	同右	海岸警備 海岸要點に監視哨を置き兵力配置		同右										
第二中隊		670	同右	同上			同右		656								
第三中隊			同右	同上			同右										

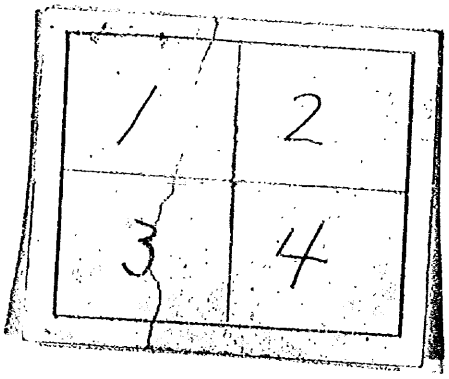
国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

| | | |

本部	第一中隊	第二中隊	第三中隊	第四中隊
	中尉 城戸・利榮			大尉 中安喜代九
		670		
右同	右同	右同	右同	右同
右同	上同	上同	上同	上同
二〇、六、一 KAKORUN 二〇、一一、二四 HEPTAHEI 二〇、一二、二 「ナセ・ナカ」土曜日出発 二〇、一二、一〇「ドルチ」入所	右同	右同	右同	右同
	海岸警備 海岸要塞に監視哨を置き兵力配置			各隊陣地構築中 昭二〇、八、一九←→八、二一 占守島北側附近に輜道
		656		

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

分割撮影ターゲット

分割した部分の撮影順序	
分割撮影した理由	A3判以上のため

上記のとおり分割撮影した事を証明する。

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

0361
0362
0363
0364

所屬 第五方面軍 第九一師團一部隊名 獨立歩兵第二八六大隊 (2) 通稱號 先一二六八六 郵便所名

全般概要	轉入 十九年以降	轉出 十九年以降	編制人員	隊別	隊長名 (()内は先代を示す)	開戰時員	駐屯地 平時	駐屯地 戰時	戰斗間の狀況及損耗	終戰後の人員變動	作業大隊より入「ソ」迄の變動	入「ソ」入員 隊別	入「ソ」入員 計	滿洲殘留	收容所名
				歩兵砲中隊			占守島	同上			二〇、九、一 第八大隊編成 二〇、一一、二七 占守島出發 二〇、一二、二 「ナホトカ」上陸三日滯在 二〇、一二、一〇 「アルチョム」入所				

国立公文書館アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

部隊名 獨立歩兵第二八六大隊 (2)

通稱號 先一二六八六

郵便所名

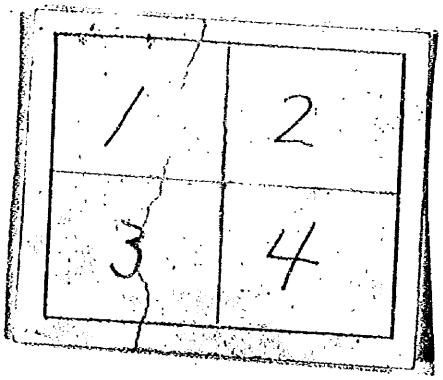
編制人員	隊別	隊長名 (()内は先代を示す)	開戰時員	駐屯地 平時	駐屯地 戰時	戰斗間の狀況及損耗	終戰後の人員變動	作業大隊より入「ソ」迄の變動	入「ソ」人員 隊別	入「ソ」人員 計	滿洲殘留	收容所 收容所名	收容所 所員	收容所 死亡	歸還人員 滿洲より	歸還人員 「ソ」領より	歸還人員 計	狀況不明者數
	歩兵砲中隊			占守島	同上			二〇、九、一 第八大隊編成 二〇、一一、二七 占守島出發 二〇、一二、二 「ナホトカ」上陸三日滯在 二〇、一二、一〇 「アルチョム」入所										

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

分割撮影ターゲット

分割した部分の撮影順序	
分割撮影した理由	A3判以上のため

上記のとおり分割撮影した事を証明する。

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

0365
0366
0367
0368

所属 第五方面軍 第九一師團 部隊名 獨立歩兵第二八七大隊 (1) 通稱號 先一二六八七 郵便所名

全般概要	轉入 十九年以降	轉出 十九年以降	編制人員	隊別	隊長名 (　)内は先代を示す	關戰人員	駐屯地 平時	駐屯地 戰時	戰斗間の狀況及損耗	終戰後の人員變動	作業大隊より入「ソ」迄の變動	入「ソ」人員 隊別	入「ソ」人員 計	滿洲殘留	收容所名
一九、五 幌筵島に於て編成第五方面軍に於て陣地構築に從事 二〇、六、二一 幌筵島にて武裝解除を受く 九中旬作業二〇大隊編成 二、二〇 同島出發→大泊→「ナホトカ」→ウラジオ上陸 第五及第一〇二分散收容				本部	長少佐 高橋 石松 醫少尉 忽滑谷		幌筵島	同上	直接戰斗行はず 砲撃を若干受く(戰死二)						
				第一中隊	中尉 高麗 少尉 酒田		同右	同上	同右						
				第二中隊	中尉 納屋	(800)	占守島	同上	同右 納谷中尉は占守島に轉出するも、詳細不明		同右				
				第三	中尉 久米		幌筵島	同上	同右		同右				
											作業第二〇大隊を編成 將校は將校大隊に 一一、二〇 幌筵出發 大泊「ナホトカ」經由「ウラジオ」上陸第五第一〇二に收容		798		

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

隊名 獨立歩兵第二八七大隊 (1)　通稱號 先一二六八七　郵便所名

編入員 隊別	隊長名 (　)内は先代を示す	關入戰時員	駐屯地 平時	駐屯地 戰時	戰斗間の狀況及損耗	終戰後の人員變動	作業大隊より入「ソ」迄の變動	入「ソ」人員 隊別	入「ソ」人員 計	滿洲殘留	收容所 收容所名	收容所 所人員	收容所 死亡	歸還人員 滿洲より	歸還人員 「ソ」領より	歸還人員 計	狀況不明者數
本部	長少佐 高橋 石松 醫少尉 忽滑谷		幌筵島	同上	直接戰斗行はず 砲爆擊を若干受く(戰死二)		作業第二〇大隊を編成 終戰に終戰大隊に 一一、二〇 幌筵出發 大泊「ナホトカ」經由「ウラジオ」上陸第五第一〇二に收容										
第一中隊	中尉 高麗 少尉 酒田		同右	同上	同右		同右										
第二中隊	中尉 納屋	(800)	占守島	同上	同右 納谷中尉は占守島に轉出するも、詳細不明		同右										
第三中	中尉 久米		幌筵島	同上	同右		同右										

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

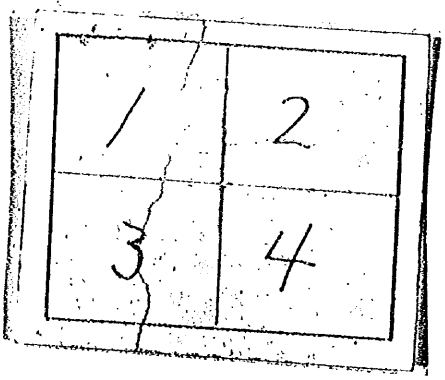
国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

本部	同	同	同	同	同	同	同	同	同
第一中隊	少尉 酒井	同 右	上 同	同 右					
第二中隊	中尉 [illegible]	(800)	島守 占	同 上	同 右				
第三中隊	中尉 久米		島 筵幌	同 上	同 右				
第四中隊	中尉 小野 清行		右 同	上 同	同 右				

本部	第一中隊	第二中隊	第三中隊	第四中隊
中尉 高麗 少尉 酒田		中尉 納屋	中尉 久米	中尉 小野 清行
		(800)		
樺太島	同右	占守島	幌筵島	同右
上同	同上	同上	同上	同上
	同右	同右 納谷中尉は占守島に轉出するも、詳細不明	同右	同右
	同右	同右	同右	同右

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

分割撮影ターゲット

分割した部分の撮影順序	
分割撮影した理由	A 3 判以上のため

上記のとおり分割撮影した事を証明する。

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

0369
0370
0371
0372

所屬 第五方面軍 第九一師團 部隊名 獨立歩兵第二八七大隊 (2) 通稱號 先一二六八七 郵便所名

全般概要	轉入 十九年以降	轉出 十九年以降	編制人員	隊別	隊長名 (　)内は先代を示す	開戰時員	駐屯地 平時	駐屯地 戰時	戰斗間の狀況及損耗	終戰後の人員變動	作業大隊より入「ソ」迄の變動	入「ソ」人員 除別	入「ソ」人員 計	滿洲殘留	收容月日
				第五中隊			幌筵島	同上							
				歩兵砲中隊	中尉 玉井淺次郎 准尉 大場				二〇、八、一八占守島に「ソ」軍上陸するも、幌筵島にありて戰斗態勢のみにして地上戰斗に至らず、八、二〇占守幌筵間海峽に「ソ」軍假裝巡洋艦一、驅逐艦二、來り艦砲射擊ありたるも大なる損害なし						

国立公文書館アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

部隊名 獨立歩兵第二八七大隊 (2)　通稱號 先一二六八七　郵便所名

編制人員	隊別	隊長名 (　)内は先代を示す	開戰時員	駐屯地 平時	駐屯地 戰時	戰斗間の狀況及損耗	終戰後の人員變動	作業大隊より入「ソ」迄の變動	入「ソ」人員 隊別	入「ソ」人員 計	滿洲殘留	收容所 收容所名	收容所 所人員	收容所 死亡	歸還入員 滿洲より	歸還入員 「ソ」領より	歸還入員 計	狀況不明者數
	第五中隊			硫黄島	同上	二〇、八、一八占守島に「ソ」軍上陸するも、硫黄島にあり戰斗態勢のみにして地上戰斗に至らず 八、二〇占守海峽に「ソ」軍假裝巡洋艦一、驅逐艦二、交り艦砲射擊ありたるも大なる損害なし											
	歩兵砲中隊	中尉 玉井淺次郎 准尉 大場																

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

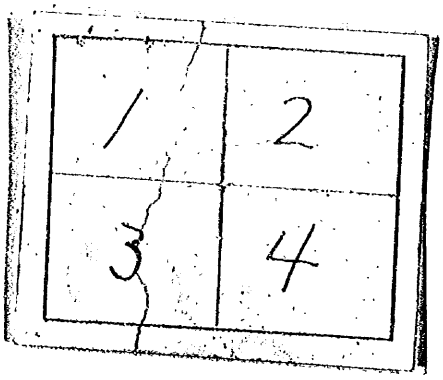
第五中隊	歩兵砲中隊	中尉 玉井淺次郎 准尉 大場一	
硫黄島			
同上			
			二〇、八、一八 占守島に「ソ」軍上陸するも、幌筵島にあり て戦斗勤務のみにして地上戦斗に至らず 八、二〇占守幌筵間海峡に「ソ」軍偽装艦 洋艦一、輸送艦二、来り艦砲射撃ありたるも 大なる損害なし

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

第五十隊	歩兵砲中隊	中尉 玉井浅次郎 准尉 大湯一		
硫黄島				
二高				
			二〇、八、一八 占守島に「ソ」軍上陸するも、幌筵島にあり て戦斗態勢のみにして地上戦斗に至らず。 八、二〇占守幌筵間海峡に「ソ」軍假装巡洋艦一、駆逐艦二、来り艦砲射撃ありたるも、大なる損害なし	

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

分割撮影ターゲット

分割した部分の撮影順序	
分割撮影した理由	A3判以上のため

上記のとおり分割撮影した事を証明する。

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

第五方面軍 第九一師團 部隊名第七三旅團通信隊

通稱號 先一二六七一

郵便所名

所屬	全般概要	轉入 十九年以降	轉出 十九年以降	編制人員	隊別	隊長名 ()内は先代を示す	開戰時員	駐屯地 平時	駐屯地 戰時	戰斗間の狀況及損耗	終戰後の人員變動	作業大隊より入「ソ」迄の變動	入「ソ」人員 隊別	入「ソ」人員 計	滿洲殘留	收容所名
	一九、五、二二 占守島にて編成 一九、七、一 師團通信より分離編成 旅團通信隊 無線 占守有線 より 各一部及内地より一部を以て編成し占守大隊長に位置す 二〇、八、一八 戰斗司令本部位置大隊長 一中二中同右 協力關係 一中〔機歩村上大隊 戰車十一大隊 旅團司令部〕 二中〔占守北地 其他の規定〕 連絡位置				本部	長大尉 武田 定雄 主少尉 大野 幸七 醫少尉 宮内 茂樹	31	占守島	同上	二〇、八、一七 戰斗準備下令 二〇、八、一八 旅團司令部と共に千歲發大隊發に前進					
					有線中隊	中尉 工藤 嘉夫 准尉 井邊 16 一小 谷川圭四郎 49 二小 佐々木榮吉 49 中尉	144	同右	同上	第一線と旅團との連絡及右第一線左一線各部隊との有線連絡死一					
					無線中隊	中尉 清水 逵夫 15 指一小 80 二小 35 三小少尉 吉定	130	同右	同上	二〇、八、一九 戰斗開始時大隊發 戰死二、負傷三、					
											二〇、一〇、九 第五大隊編成 二〇、一〇、九 千歲發出發大隊發 一〇、一五 片岡港出港 一〇、一八「マガダン」港着 一〇、二四「マガダン」地區 第四收容所へ 二一、五、一〇 同地區第一收容所轉出 同部隊約六〇名 兩收容所に於ける部隊員は同地區各收容所に轉出多數ありて細部不明	同右				
													計	272		

国立公文書館アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

部隊名第七三旅團通信隊　通稱號先一二六七一　郵便所名

編制人員 出入隊	隊別	隊長名（）内は先代を示す	開戰時人員	駐屯地 平時	駐屯地 戰時	戰斗間の狀況及損耗	終戰後の人員變動	作業大隊より入「ソ」迄の變動	入「ソ」人員 隊別	入「ソ」人員 計	滿洲殘留	收容所 收容所名	收容所 所人員	收容所 死亡	歸還人員 滿洲より	歸還人員 「ソ」領より	歸還人員 計	狀況不明者數
	本部	長大尉 武田定雄 主少尉 大野幸七 醫少尉 宮内茂樹	31	占守島	同上	二〇、八、一七 戰斗準備下令 二〇、八、一八 旅團司令部と共に千歲發 大觀發に前進				—								
	有線中隊	中尉 工藤嘉夫 指准尉 井邊 16 一小中尉 谷川圭四郎 49 二小中尉 佐々木榮吉 49	144	同右	同上	第一線と旅團との連絡及右第一線左一線各部隊との有線連絡死一		二〇、一〇、九 第五大隊編成 二〇、一〇、九 千歲發出發大觀發 一〇、一五 片岡港出港 一〇、一八「マガダン」港着 一〇、二四「マガダン」地區 第四收容所へ 二一、五、一〇同地區第一收容所轉出同部隊約六〇名 兩收容所に於ける部隊員は同地區各收容所に轉出多數ありて細部不明	同右								
	無線中隊	中尉 清水達夫 指一小 15 二小 35 三小少尉 吉定 80	130	同右	同上	二〇、八、一九 戰斗開始時大觀發 戰死二、負傷三、												

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

隊	中線	隊中線有	部	本	
三二一指揮中隊 三小小少隊 滝水 遼天 吉定 80 35 15	130	中二中一指揮隊 井邊 中隊小小 令川吉四郎 49 16 佐々木義吉 49	陸軍大臣 寺田 安雄 陸軍少将 宮天 義春 陸軍大佐 宮天 義春	31	
右 同		右 同			陸軍少佐
上 同		上 同			同

三〇、八、一九 陸軍大臣
陸軍二、貴総三、

三〇、八、一七 陸軍大臣
三〇、八、一八 陸軍次官通牒
大陸第五四号

三〇、一〇、一六 陸軍大臣
陸軍
三〇、一〇、一七
手続陸軍大臣
一〇、一四 大臣総長
一〇、一八 ヤルタ会談
一〇、二四 ヤルタ会談
陸軍部隊
二一、一四、一〇 陸軍総長
各師団長宛陸軍大臣
陸軍部隊に対する戦闘
陸軍部隊の戦闘
陸軍部隊の戦闘
陸軍大臣

同 右

同 右

三〇、八、一九 陸軍大臣
陸軍二、貴総三、

三〇、八、二〇 陸軍大臣
陸軍二、貴総三、

三〇、八、二一
陸軍人員、編成陸軍部隊
編成

三〇、八、二三
三陸軍部隊中隊編成

三〇、八、三〇
陸軍作戦大陸命
及中隊、陸軍部
編成大陸命
自転車隊、機関銃隊、迫撃砲隊 1000名

三〇、一〇、一五
七中隊

三〇、一〇、一八
ヤルタ会談
公開記録陸軍大臣
宮中御前会議ヒ陸軍大臣
に報入

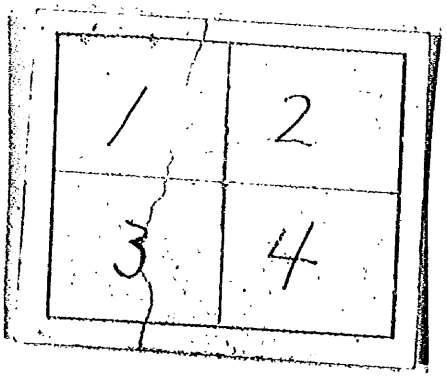
天皇 武田 安雄
中隊 松本 義夫
同 工藤 義夫
同 佐々木義吉
同 武井 義
今隊 大佐 中尉 中尉
同 中三 陸一
同 新田 陸夫
同 山崎 勇一
同 鈴木 義郎
同 鈴木 義郎

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

隊中線隊		隊中線有		部	考
三小少尉 吉定	指揮中尉 清水	中二中尉小尉 谷川吉四郎49	指揮中尉 工藤	第一線第二線第三線	第一線第二線第三線
80 35 15	遂夫	佐々木繁吉49	遂夫		
130		144		31	
右同		右同		右同	右同
上同		上同		上同	上同
三〇、八、一九 第六師団第四大隊第二、第三、第四		第一線と第四との連絡及右第一線左一線右線との右翼連絡確保		三〇、八、一七 第六師団第四大隊第二、第三、第四	三〇、八、一七 第六師団第四大隊第二、第三、第四
三〇、一〇、九 第六師団第四大隊		同右		272	三〇、一〇、九 第六師団第四大隊

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

分割撮影ターゲット

分割した部分の撮影順序	
分割撮影した理由	A3判以上のため

上記のとおり分割撮影した事を証明する。

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

0377
0378
0379
0380

所屬 第五方面軍 第九一師團 部隊名 第七三旅團作業隊 通稱號 先一二六七二 郵便所名

全般概要	轉入 十九年以降	轉出 十九年以降	編入員	隊別	長名	開戰時員	駐屯地 平時	駐屯地 戰時	戰斗間の狀況及損耗	終戰後の人員變動	作業大隊より入「ソ」迄の變動	入「ソ」人員 隊別	入「ソ」人員 計	滿洲殘留	收容
一九、五 編成 二〇、八、二三 武裝解除を受けて後、商船隊從事地（占守千方面）に集結後の命令を待つ 二〇、九初 勞働大隊を編成し主力隊の將校五名及兵三名は將校樺太として二〇、一二、三 占守島出航す 二〇、一〇、末 作業大隊のみ「カムチャツカ」に送らる 將校大隊編入者 中尉 齋藤 正 岡 木村正三郎 少尉 佐藤 邦男 少尉 平井 裕美 同 朝子 忠雄 以上五名	二〇、三 隊長一名	二〇、三 隊長一名		本部	隊長 (一)内は先代を示す 長中尉 齋藤 正 副少尉 佐藤 邦男	約20	占守島	同上	戰斗は八、一八—八、二一に亞る間行はれたが當隊は直接銃火を交へず（陣地守備）						
				第一小隊	中尉 木村正三郎		同右	同右							
				第二小隊	少尉 佐藤、國男	164（將5 下兵159）	同右	同右							
				第三小隊	少尉 半月 祐美		同右	同右							
			164								二〇、九、初勞働大隊編成將校五名及兵三名は將校捕虜に編入（エラブカ） 二〇、一〇、一五 作業大隊は「カムチャツカ」リヤ州マガダン第一收容所に收容				

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

部隊名第七三旅團作業隊　通稱號 先一二六七二　郵便所名

編制人員 隊別	隊長名 (）内は先代を示す	開戰時人員	駐屯地 平時	駐屯地 戰時	戰斗間の狀況及損耗	終戰後の人員變動	作業大隊より入「ソ」迄の變動	入「ソ」人員 隊別	入「ソ」人員 計	滿洲殘留	收容所 收容所名	收容所 所員	收容所 死亡	歸還人員 滿洲より	歸還人員 「ソ」領より	歸還人員 計	狀況不明者數
本部	隊長中尉 齋藤正 副少尉 佐藤邦男	約20	占守島	同上	戰斗は八、一八～八、二一に至る間行はれたが當隊は直接銃火を交へず（陣地守備）		二〇、九、初第一作業大隊編成將校五名及兵三名は將校捕虜に編入（ヒラブカ） 二〇、一〇、一五 作業大隊は「カムチャツカ」カリマ州マガダン第一收容所に收容		164								
第一小隊	中尉 木村正三郎		同右	同右													
第二小隊	少尉 佐藤國男	164（將5 下兵159）	同右	同右													
第三小隊	少尉 半月祐美		同右	同右													

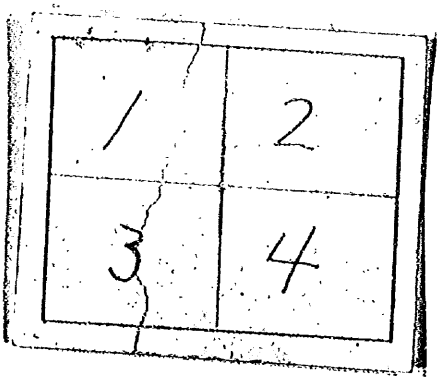
国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

| | | |

本部	第一小隊	第二小隊	第三小隊	器材小隊
中尉 佐藤 英男	中尉 木村正三郎	少尉 佐藤 國男	少尉 半月 祐美	少尉 朝子 忠雄
約20		164 (將5 下兵159)		約 20
上海寺島	同右	同右	同右	同右
上 同				
一〇、六、 敵機大隊に対する攻撃 敵砲兵陣地を撃破し引き （ミラブカ） 一〇、一〇、一五 作業大隊は「カムチャツカ カリマ州マガダン第一攻撃 所に攻撃	同右	同右	同右	同右

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

分割撮影ターゲット

分割した部分の撮影順序	
分割撮影した理由	A3判以上のため

上記のとおり分割撮影した事を証明する。

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

0381
0382
0383
0384

所属 第五方面軍 第九一師團 部隊名第七四旅團司令部 通稱號先 二六七四 郵便所名

全般概要	轉入 十九年以降	轉出 十九年以降	編制人員	隊別	隊長名 (　)内は先代を示す	開戦時員 人	駐屯地 平時	駐屯地 戰時	戰斗間の狀況及損耗	終戰後の人員變動	作業大隊より入「ソ」迄の變動	入「ソ」人員 隊別	入「ソ」人員 計	滿洲殘留	收容所名
本司令部は元キスカ島守備より撤收後幌筵に上陸 二〇、八、一八 占守島「ソ」軍上陸作命により二十一日占守島に上陸す、三好野飛行場に於て武器を受けた後、同島三塚山に收容され、九月三日將校下士官兵に二分され各大隊編成隊別す 二〇、九、一七 作業第十七大隊將校第三大隊第十七大隊に二〇、一〇、一沿海州到着「ムーグ」地區一〇二に收容 將校大隊編入者 中將 佐藤 政治 少佐 山田 稔一 大尉 石倉 肇 同 加々谷 一 中尉 角替末太郎 同 長谷川吉郎 同 岸田 正也 歩中尉 高田 俊雄 少尉 田宮 良輝 同 一 平爾 徹也 同 二 金子三郎三 同 古川 勝海	一	長少將 佐藤 政治	幌筵島	占守島	二〇、八、一八 占守島「ソ」軍上陸命令に依り二十一日占守島に上陸す占守七十三旅團第一線七十四旅團は第二線警系を整ふ	將校は將校大隊に編入下士、兵は作業第十七大隊編成 二〇、九、一五 二〇、九、二九出發「ソフガワ」に上陸「ムーリ」地區一〇二收容所へ	一	一			

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

部隊名第七四旅團司令部　通稱號先一二六七四　郵便所名

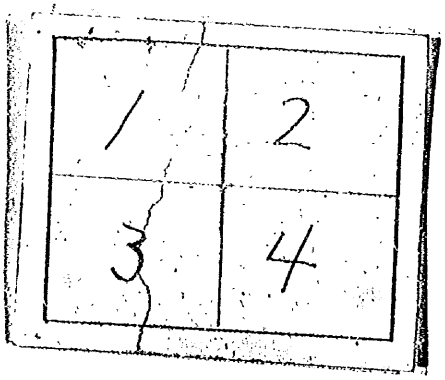
編制人員		隊長名	開戰時員	駐屯地		戰斗間の狀況及損耗	終戰後の人員變動	作業大隊より入「ソ」迄の變動	入「ソ」人員	滿洲殘留	收容所		歸還人員		狀況不明者數
隊別				平時	戰時				隊別	計	收容所名	所員人	死亡	滿洲より	「ソ」領より	計
一		長少將 佐藤 政治 (一)内は先代を示す		幌筵島	占守島	二〇、八、一八占守島「ソ」軍上陸命令に依り二十一日占守島に上陸す占守七十三旅團第一線七十四旅團は第二線登陸を整ふ		將校は將校大隊に編入下士、兵は作業第十七大隊編成 二〇、九、一五 二〇、九、二九出發「ソフガワ」に上陸「ムーリ」地區一〇二收容所へ								

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

分割撮影ターゲット

分割した部分の撮影順序	
分割撮影した理由	A3判以上のため

上記のとおり分割撮影した事を証明する。

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

0385
0386
0387
0388

所屬 第五方面軍 第九一師團 部隊名 獨立歩兵第二八八大隊(I) 通稱號 先一二六八八 郵便所名

全般概要	轉入 十九年以降	轉出 十九年以降	編制員	隊別	隊長名 (　)内は先代を示す	隊員 戰時	駐屯地 平時	駐屯地 戰時	戰斗間の狀況及損耗	終戰後の人員變動	作業大隊より入「ソ」迄の變動	入「ソ」入員 隊別	入「ソ」入員 計	滿洲殘留	收容所
二〇、八、一八占守に上陸せる「ソ」軍を攻撃の目的を以て幌筵島より占守島に移動、同島代替陣地配備につく 終戰後は三好野飛行場に於て武裝勞働第九大隊を編成 二一、一一、九樺太警備收容所に收容 將校大隊編入者 大尉 森木 勇 同 田中 權松 中尉 庄司 貴心 同 今野 正一 同 武野 正弘 少尉 菊田 浩 同 稻本 猛 中尉 渡邊 利雄 同 神 亮一 同 柴藤 武治 同 安島勉一郎 少尉 鍛治 嘉男 同 今村 大藏 同 阿久津武松 同 今川 幸雄 中尉 沖木喜三郎 同 直方 明 少尉 松見 龍男 同 古屋 益敬 同 赤平 勉 同 黑澤 勉 同 宋澤 逸			858	本部	少佐 橋口 俊成 大尉 森木 勇	40	幌筵島	古守島	「ソ」軍占守島に上陸するや當時幌筵島にありし部隊に應急派兵せられ代替陣地附近に集結す對峙すること二昼夜 戰死約二〇名 負傷約三五名		將校大隊及作業九大隊編成 將校大隊は「シベリヤ」方面に向ふ 第九大隊は二一、六、一部輕巡島の港場へ一部樺太へ一部「カムチャツカ」 二一、一一、九農岡收容所移動、豊原分遣二五〇				
				第一中隊	中尉 渡邊 利雄 同 神 亮一 少尉 青木 重人 同 曾田	137	同右	同右	同右						
				第二中隊	中尉 齋藤 武治 少尉 鍛治 嘉男	141	同右	同右	同右						
				第三中隊	中尉 今村 大藏 少尉 今川 幸雄 同 阿久津武松		同右	同右	第二級部隊にして直接戰斗に參加せず						

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

隊名 獨立歩兵第二八八大隊(I)　通稱號 先一二六八八　郵便所名

隊別	隊長名（）内は先代を示す	開戰時員	駐屯地 平時	駐屯地 戰時	戰斗間の狀況及損耗	終戰後の入員變動	作業大隊より「ソ」迄の變動	入「ソ」人員 隊別	入「ソ」人員 計	滿洲殘留	收容所 收容所名	收容所 入所員	收容所 死亡	歸還人員 滿洲より	歸還人員 「ソ」領より	歸還人員 計	狀況不明者數
本部	少佐 橋口 俊成 大尉 森木 勇	40	幌筵島	古宇島	一ソ一第占守島に上陸するや當時幌筵島にありし部隊に應急派兵せられ代官臺附近に集結す對峙すること二昼夜 戰死約二〇名 負傷約三五名		將校大隊及作業九大隊編成 將校大隊は「シベリヤ」方面に向ふ 第九大隊は二一、六、一部幌筵島の漁場へ一部樺太へ一部「カムチヤツカ」 二一、一一、九國岡收容所移動、登原分遣二五〇										
第一中隊	中尉 渡邊 利雄 同 神 亮一 少尉 青木 重人 同 曾田	137	同右	同右	同右				748								
第二中隊	中尉 齋藤 武治 少尉 鍛治 嘉男	141	同右	同右	同右												
第三中	中尉 今村 大藏 少尉 今川 幸雄 同 阿久津 武松		同右	同右	第二線部隊にして直接戰斗に參加せず												

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

二〇、八、一八
[illegible]

二一、一一、九練大隊解散
各所に収容
練成大隊編入者
大尉　森木　勇
同　田中　樫松
中尉　庄司　貫心
同　今野　正一
同　武野　正弘
少尉　須田　浩
同　稲本　猛
中尉　渡邊　利雄
同　神　亮一
同　斎藤　武治
少尉　安島勉一郎
同　鍛治　嘉男
同　今村　大藏
同　阿久津武松
同　今井　幸雄
中尉　浜木哲三郎
同　直方　明
少尉　松見　能男
同　古屋　金敬
同　赤平　勉
同　黒澤　勉
同　宋澤　通

本部	第一中隊	第二中隊	第三中隊	第四中隊
少佐　藤田　參謀 大尉　森木　勇	中尉　渡邊　利雄 同　神　亮一 少尉　青木　重人 同　曾田	中尉　齋藤　武治 少尉　鍛治　嘉男	中尉　今村　大藏 少尉　今川　幸雄 同　阿久津武松	中尉
40	137	141		
横須賀	同右	同右	同右	同右
土浦	同右	同右	同右	同右
[illegible] 【[illegible]】	同右	同右	第二線部隊にして直接戦斗に参加せず	同右

練成大隊は第一期大隊編成
練成大隊は「カヤヤッチ」方
四期生
練成大隊は二一、六、一終
練習生の練成（一終終了）
一終「カヤヤッチ」
二一、一一、九練成終了
終了、卒業者二五〇

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

第二中隊	第一中隊	第三中隊	第四中隊	部本
少尉 中尉 嚴藤 治 嘉男 武	同少尉 同中尉 倉田 森本 重人 雄	同少尉 同中尉 阿久津 今村 武 幸雄 大義	中尉	大高
141	137			40
右同	右同	右同	右同	右同
右同	右同	右同	右同	右同
右同	右同	第三種部隊にして直接戦闘に参加セず	右同	

748

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp